

1. 部会のビジョンと審議テーマ

(1) 部会のビジョン

若い人に住んでもらえるまち

→調査審議の対象する「若い人」を概ね子育て世代とし、子育て世代にとって住みやすいまちとなるための様々な方策が挙げられたが、その中から審議テーマを次のとおり設定した。

(2) 審議テーマ

身近な公園をより魅力的にするための、地域住民による公園の管理運営方策について

→子育て世代にとって住みやすいまちとなるためには、子どもがのびのびと暮らせる環境が必要で、その一つとして思い切り遊んだり世代を問わず交流できる、地域コミュニティの核となるような公園が必要である。

→地域コミュニティの核となる魅力的な公園にするためには、地域のニーズに合った公園とするべく、住民による自主的な公園の管理・運営が必要である。そのため、既存の公園をより魅力的にするための取組につなげてもらうとともに、土地区画整理事業が進む登戸地区において将来新設が予定されている3か所の公園づくりにも参考としてもらえるよう、区民による主体的な公園の管理・運営の促進に向けた方策や公園づくりの手法等を審議する。

2. 公園の維持管理の状況と課題について

※多摩区道路公園センターから公園管理の状況をヒアリング（平成29年5月24日）

■公園の管理について

- ・市内公園の管理形態には、道路公園センターの直営による管理と地域住民組織との協働による管理がある。地域住民による公園の維持管理組織としては次の2種類がある。
 - ◇公園緑地愛護会：主に維持管理活動がメインとなる。
(公園内の除草・清掃、くすかごのごみ処理、破損遊具の連絡等)
 - ◇管理運営協議会：公園緑地愛護会が実施する維持管理活動に加えて樹木の下枝落としや低木の刈り込み、公園利用や使い方の調整まで行うことができる。
- ・市では住民に身近な公園を“地域の庭”としてより柔軟に活用してもらうため、管理運営協議会の立ち上げや公園緑地愛護会からの移行を促進している。

■多摩区における状況について

- ・区民との協働で管理されている（公園緑地愛護会又は管理運営協議会が設置されている）公園の割合は、麻生区に次いで2番目に低い。
- ・公園緑地愛護会、管理運営協議会ともメンバーの高齢化が進んでいて、担い手不足が課題になっている。その理由としては、町内会・自治会を母体として結成されており、その役員が高齢化していることが考えられる。

3. 考えられる解決策

- ・身近な公園を地域の実情に即してより柔軟に活用していくためには、区民による主体的な公園の管理運営が不可欠のため、区民一人ひとりに公園に関わることの必要性を認識してもらい、公園づくりへの参加（管理運営協議会の立上げ）を更に促進する。そのため、これまでの行政による取組や区民の意識について調査し、より効果的に参加を促す手法を検討する。
- ・既に公園の維持管理に携わっている区民に対しては、より幅広い区民参加や利活用等につなげてもらうため、先進的な取組の事例紹介等を行う。
- ・こうした取組を効果的に推進するため、働きかける対象に応じた解決策を次のとおり整理し、今後検討を進める。

対象	ポイント	考えられる解決策（例）
一般の区民向け	○公園を有効に使うには、自治への参加が重要であることを知ってもらう	○公園づくりへの関わり方をPR（冊子などの作成） ○公園づくりに関わるイベント等の開催等
公園愛護会向け	○管理運営協議会への移行を促す	○管理運営協議会への移行を促すマニュアル等の作成 ○公園管理運営協議会への移行に関わる、相談会、シンポジウム等の開催等
公園管理運営協議会向け	○魅力ある公園づくりの考え方や手法等を知ってもらう	○他都市の公園づくりの活動を紹介する事例集やマニュアル等の作成 ○公園づくり講演会・シンポジウム・ワークショップの開催等

4. 調査審議の状況及び今後の予定について

■市民主体による区内公園の維持管理の現状・課題の把握

- ・管理運営協議会へのヒアリングを行い、地域における自主的な公園管理の現状や課題を把握する。
 - ◇生田雁俣公園管理運営協議会（平成29年7月13日）
 - ◇登戸第1公園管理運営協議会（平成29年7月18日）
 - ◇三田第3・第7公園管理運営協議会（平成29年7月20日）
 - ◇生田6丁目公園管理運営協議会（平成29年7月26日）

実施済み
※ヒアリング結果は別紙参照

■他都市公園の視察

- ・市民主体により効果的な公園の維持管理や様々な利活用をしている公園の視察する。先進事例を整理して、市民主体の公園づくりの手法やプロセス、あり方などを整理する。

■地域や若い人の意見を取り入れる手法の検討

- ・部会のビジョン「若い人に住んでもらえるまち」を踏まえ、地域や若い人が考える公園に関する課題や目指すべきあり方等について、区民会議として意見を取り入れる手法を検討する。

第6期多摩区区民会議 A部会勉強会ヒアリングシート

1 公園の概要

実施日：平成29年7月13日（木） 出席委員：池野谷、杉下、矢野、山吉

名称(種別)	生田雁俣公園（街区公園）
所在地	多摩区西生田5－17－6
面 積	130㎡
特 徴	・雁俣自治会の区域内で唯一の公園 ・周囲に公園が少なく大変重宝している ・面積は狭いが子どもがよく遊んでいる ・お祭り時の中継所や夜回り活動時の休憩所、災害時一時避難場所等多様に活用されている



2 管理運営協議会の概要・活動等

組織について			
名 称	生田雁俣公園管理運営協議会	会員数	自治会として管理しており、協議会としての正式な人数は不定
メンバー構成・年齢層	町会の役員、青年部、子ども会が日頃の管理を行っている。	立上げ(移行)時期・きっかけ	管理運営協議会が制度化された際に、愛護会から移行した。
会議開催状況	(種類、開催頻度など) 協議会として会議は開催していない(自治会会議時に公園のことについても話し合っている)		
活動内容について			
◎日頃の活動内容・頻度			
〔 ・町会の役員・青年部、子ども会で草刈りをしている。 ・管理には50～60人が携わっている。 ・草が伸びてきたらそのタイミングで草刈りをしている。また、植込みの手入れをしている。 〕			
◎上手くいっている活動や成果、工夫していること			
〔 ・面積の狭い公園であるが、様々な利活用がなされるとともに維持管理にも若い人も含め多くの方が携わり、コミュニティの醸成にも役立っている。 〕			
◎思い通りにならない活動や活動する上での課題、困っていること			
〔 ・活動する上で困っていることなどは特にない 〕			
◎周辺住民からの苦情や要望の有無、その場合の対応			
〔 ・周辺に住宅は多くあるが、周囲からの苦情は特にない ・ブランコを設置してほしいという要望があったが、狭いので協議会としてストップをかけた。 〕			
◎協議会がより活動しやすくなるためのアイデア			
〔 ・行政への注文等は特にない 〕			
◎その他			
〔 ・公園は自治会が発足する約2年前（S36年ごろ）にできた。 ・助成金は年24,000円で、自治会予算の収入となっている。 ・10年位前に行政に新しいフェンスを設置してもらった。 ・自治会区域には約650戸住宅があり、加入率は約90%と高い 〕			

3 まとめ・所感

・面積が狭い公園で遊具も滑り台のみであったが、様々な利活用がなされ地域の方にとって重宝されている。維持管理にも多くの住民が携わり、コミュニティの醸成にも一役買っていると思われた。管理運営協議会として活動しているというよりは、自治会の活動の一部をして維持管理が行われていた。

4 ヒアリング時写真



第6期多摩区区民会議 A部会勉強会ヒアリングシート

1 公園の概要

実施日：平成29年7月18日（火） 出席委員：安藤、池野谷、杉下、高森、矢野、山吉、余湖

名称(種別)	登戸第1公園（街区公園）
所在地	多摩区登戸新町228
面積	1,383㎡
特徴	• 子どもの利用が多い • 盆踊りや芋煮会、餅つきなど地域の様々な行事に活用されている • 9月の祭りの際は神酒所として使用している



2 管理運営協議会の概要・活動等

組織について			
名 称	登戸第1公園管理運営協議会	会員数	協議会員は約10名
メンバー構成・年齢層	登戸多摩川町会役員で構成 代表は町会長が行っている	立上げ(移行)時期・きっかけ	4～5年前に行政からの案内を見て立上げた(立上げ前から清掃は行っていた)
会議開催状況	(種類、開催頻度など) 協議会としての会議は開催していない		
活動内容について			
◎日頃の活動内容・頻度			
・月2回程度の掃除を行っている(9班体制で、若い人も含め80～90人が携わっている)。落ち葉の季節はほぼ毎日清掃している。高い樹木の管理は道路公園センターに依頼している。 ・役所からもらった花の苗を公園の花壇で育てており、水やりや草むしりを行っている。管理人を募集しているがなかなか集まらない。 ・公園利用の申請を受付けており、年に7～8件の申請がある(幼稚園や野球チームの行事等)。			
◎上手くいっている活動や成果、工夫していること			
・役員が協力的であり、管理運営の諸活動がうまく回っている。			
◎思い通りにならない活動や活動する上での課題、困っていること			
・特になし			
◎周辺住民からの苦情や要望の有無、その場合の対応			
・トイレ設置の要望が少しあったが、管理面を考慮し特に行政には要望していない。 ・苦情は特にない			
◎協議会がより活動しやすくなるためのアイデア			
・日頃の活動等について道路公園センターと話をする場がないので、年2回くらいあるとよい。 ・(自治会活動用品も含め)活動用の倉庫があるとよい。			
◎その他			
・公園利用上の禁止事項等は特に定めていないが、危険な行為等は注意している(近くでのキャッチボールはOK、バットの使用はNG、自転車の乗り入れはNG、など) ・ごみ箱は家庭ごみなどが捨てられるため、行政に撤去してもらった。 ・町会区域には約1100世帯あり、加入率は約7割(約800世帯加入)。管理運営協議会への助成金は町会の収入としている。			

3 まとめ・所感等

- 若い人を含め多くの地域住民が公園の清掃に携わっており、きれいに管理されていた。また、自主的に花壇の管理も行われている。
- 町会としての利活用（祭り・芋煮会・もちつき等）のほか、町会以外の団体（幼稚園、野球チーム等）からの利用申請もあり、幅広く利用されている。
- 高い樹木が複数あるが、その管理は道路公園センターに依頼するなど維持管理が分担して行われていた。

4 ヒアリング時写真



第6期多摩区区民会議 A部会勉強会ヒアリングシート

1 公園の概要

実施日：平成29年7月20日（木） 出席委員：池野谷、豊田、矢野、山吉

名称(種別)	三田第7公園（街区公園）
所在地	多摩区三田1－1－18
面積	157㎡
特徴	・元々荒地であったが地元で要望し整備してもらった。 ・老人クラブがペタンク（鉄玉を投げるゲーム）に使用している。 ・子ども達が遊んでおり、高齢者の利用は暑い日は少ない。



2 管理運営協議会の概要・活動等

組織について			
名 称	三田第7公園管理運営協議会	会員数	6名
メンバー構成・年齢層	自治会長と自治会役員が兼務	立上げ(移行)時期・きっかけ	平成22年立上げ
会議開催状況	(種類、開催頻度など) 管理運営協議会としては開催せず		
活動内容について			
◎日頃の活動内容・頻度			
〔 ・ 樹木への水やりや清掃を福寿会（老人クラブ）が行っている。 ・ 樹木の伐採は町会と福寿会が行っている（高木は行っていない。道路公園センターにも特に頼ってはいない）。			
◎上手くいっている活動や成果、工夫していること			
〔 ・ 水やりをする際の水は近所からもらっている。 ・ 倉庫があり、清掃用具など様々なものを収納している。			
◎思い通りにならない活動や活動する上での課題、困っていること			
〔 ・ 水飲み場がないが、要望はあげていない。 ・ ベンチが少ないのでもう少しあってもよい。			
◎周辺住民からの苦情や要望の有無、その場合の対応			
〔 ・ 子ども達は大きい公園に遊びに行き、利用が多くないためか苦情は特にない。			
◎協議会がより活動しやすくなるためのアイデア			
〔 ・ 水飲み場がないが、要望はあげていない。			
◎その他			
〔 ・ 管理運営協議会の母体である五反田自治会は約1500世帯の規模。 ・ 利用がゲートボールからペタンクに変わりつつある。 ・ 自治会から福寿会へ補助金を支払っている。			

3 まとめ・所感

- ・水やりや清掃を老人クラブが行っており、水飲み場はないが必要な水を近所からもらうなど地域で協力しながら管理が行われている。
- ・規模の大きい公園ではないが、ペタンクなど様々な活動が行われている。

4 ヒアリング時写真



第6期多摩区区民会議 A部会勉強会ヒアリングシート

1 公園の概要

実施日：平成29年7月20日（木） 出席者：池野谷、豊田、矢野、山吉

名称(種別)	三田第3公園（街区公園）
所在地	多摩区三田1－4
面積	2,473㎡
特徴	・入口を5年前位に整備しなおした。また、トイレを改修や防災倉庫の設置、砂場や鉄棒のレイアウトも見直しも行った。 ・近隣の幼稚園や保育園による運動会の開催（年3回位）、三田小でのスイカ割り等で利用されており公園掲示板で広報している。 ・高齢者がラジオ体操でも利用している。



2 管理運営協議会の概要・活動等

組織について			
名 称	三田第3公園管理運営協議会	会員数	6名
メンバー構成・年齢層	自治会長及び役員が兼務	立上げ(移行)時期・きっかけ	平成17年立上げ
会議開催状況	(種類、開催頻度など) 管理運営協議会としては開催せず		
活動内容について			
◎日頃の活動内容・頻度			
〔 ・ 日常のゴミ拾いや清掃は自治会が行っている。 ・ トイレの清掃は毎日行っている。また、周囲の樹木は、2年に1回程度道路公園センターに切ってもらっている。 〕			
◎上手くいっている活動や成果、工夫していること			
〔 ・ 落ち葉は近所の方が毎日掃いており、自治会ではゴミ袋を渡している。 ・ 五反田地区は地域が協力的で、住民が自主的に掃除をしている。 ・ 災害時に車両の通行が可能となるよう通路を作った。 ・ ごみ箱は置かないようにしている。 ・ 副会長が公園の見回りをしている。 〕			
◎思い通りにならない活動や活動する上での課題、困っていること			
〔 ・ たばこの吸い殻がひどいので、看板で注意喚起すること考えている。 〕			
◎周辺住民からの苦情や要望の有無、その場合の対応			
〔 ・ 子どもが遊ぶ声などに対する苦情はない。苦情が寄せられれば会長が対応している。 ・ 花火で使われることがあるが、苦情は特にない。 〕			
◎協議会がより活動しやすくなるためのアイデア			
〔 ・ 必要な事項は道路公園センターに要望し応えてもらっている。 〕			
◎その他			
〔 ・ 三田小学校があるため、災害時の一時避難場所にはなっていない。 ・ お祭りは神社で開催している。 ・ 協議会の収入は自治会の収入とし、清掃時の昼食等で活用している。 ・ 清掃をしている際に鎌でけがをした人がおり、斜面の掃除は危険と感じている。 〕			

3 まとめ・所感

- ・ 地域住民が協力的でまとまりがあり、自主的な清掃等が行われている。
- ・ 地域の保育園・幼稚園や小学校での行事やラジオ体操など幅広い世代に様々な利用がされている。
- ・ 災害時の車両通行を想定し道路から園内への通路を確保するなど、日頃から公園を有効活用するための工夫がされている。

4 ヒアリング時写真

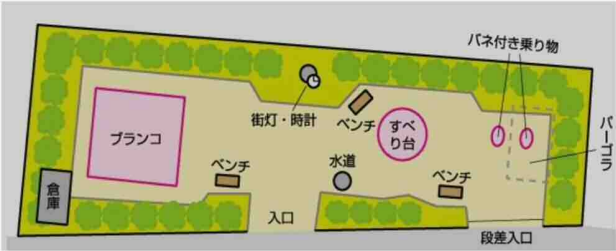


第6期多摩区区民会議 A部会勉強会ヒアリングシート

1 公園の概要

実施日：平成29年7月26日（水） 出席者：池野谷、矢野、山吉

名称(種別)	生田6丁目公園（街区公園）
所在地	多摩区生田6－19
面積	386㎡
特徴	・隣接のマンション建設に伴う提供公園として設置された。 ・自治会の盆踊り（400人位参加）やまちづくり委員会の子ども祭り、もちつき大会、防災訓練時の本部設置等で活用している。



2 管理運営協議会の概要・活動等

組織について			
名称	生田6丁目公園管理運営協議会	会員数	自治会役員や老人会で構成
メンバー構成・年齢層	自治会役員や老人会で構成	立上げ(移行)時期・きっかけ	平成17年に愛護会から移行
会議開催状況	(種類、開催頻度など) 管理運営協議会としては開催せず		

活動内容について

◎日頃の活動内容・頻度

- ・清掃や草むしりは、月1回、まちづくり委員会や自治会の組長等が行っており、各日12～13人が参加している。少ない時は5名位だが、集まった人数でできる範囲で活動している。その他、統一美化活動の際などに清掃を行っている。

◎上手くいっている活動や成果、工夫していること

- ・公園内の花の世話に力を入れており、遠くからも世話に来る人がいる。
- ・今年度公園に掲示板を設置する予定であり、落とし物情報等を掲載しては、との意見が出ている。
- ・清掃等の活動を行っているまちづくり委員会の役員は立候補で決まるため、自発的・積極的に活動をしてもらっている。

◎思い通りにならない活動や活動する上での課題、困っていること

- ・トイレがない。行事等の際に必要なが、近所で融通しあっているため不満は出ていない。
- ・管理をしている方の高齢化が進んでいる。

◎周辺住民からの苦情や要望の有無、その場合の対応

- ・公園に対する苦情は特にない。

◎協議会がより活動しやすくなるためのアイデア

- ・今年度設置予定の掲示板等を活用し、ますます公園を地域コミュニティの軸にしていきたい。

◎その他

- ・自治会の規模は約600世帯。
- ・愛護会から管理運営協議会に移行したが、地域での公園利用などで自由度が高まるなど、良いことしかないと考えている。

3 まとめ・所感

- ・元々まとまりのある地域で、マンション建設時の経過で提供された公園に愛着が持たれており、花の世話に遠くから来る人がいるなど様々な人が携わり、積極的な管理が行われていた。
- ・地域の祭りや防災訓練など幅広く活用されており、規模は大きくないが盆踊りに約400人が参加するなど地域におけるコミュニティの中心となっている。

4 ヒアリング時写真

